

福島先達山太陽光発電所

事業進捗報告書

令和6年7月

事業者：A C 7 合同会社

(Amp 株式会社)

施工者：東芝プラントシステム株式会

株式会社奥村組

■はじめに

福島先達山太陽光発電事業では、2018年の用地取得以降、各種調査・設計、地元協議、環境アセスメント、開発許認可等を経て、2021年末に造成工事に着手しました。安全第一で、2025年の運転開始を目指しています。

■事業者

事業の実施主体	Amp 株式会社	東京都港区六本木 1-4-5 アークヒルズサウスタワー16F
事業会社	AC7 合同会社	東京都中央区銀座 1-6-11 土志田ビルディング 3F

■事業概要

本光発電所から生み出される電力量は、一般家庭約 12,000 世帯に相当し、化石燃料を利用しない再生可能エネルギーへの代替により二酸化炭素排出量を年間 22,000t-CO2 削減できる見込です。

名称	福島先達山太陽光発電所	所在	福島市在庭坂字金堀沢 1-2 他
敷地面積	約 345ha	内造成面積	約 60ha
発電所	特別高圧太陽光発電所	発電規模	約 60MW (発電所設備容量)

■事業推進体制

大規模な太陽光発電所やインフラ事業での実績が豊富な企業で事業を推進しております。

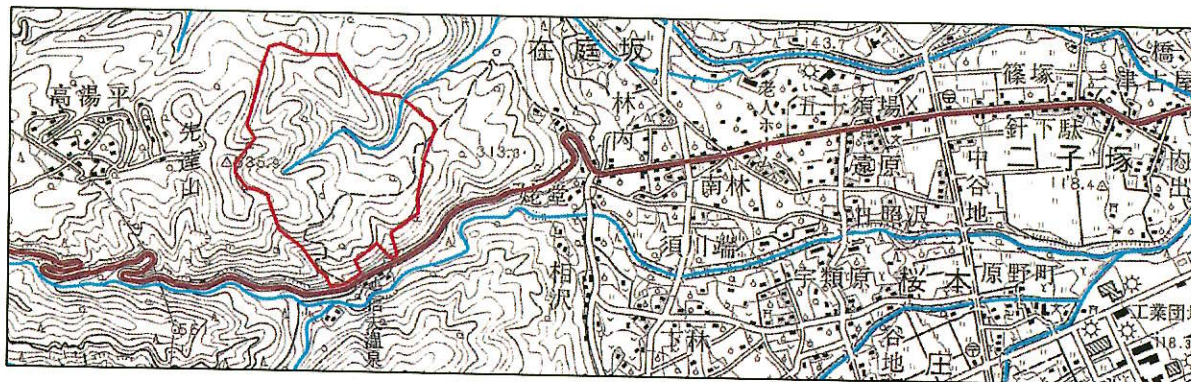
事業の実施主体	Amp 株式会社	発電事業者	AC7 合同会社
開発設計	株式会社アーク	環境影響評価	一般社団法人日本気象協会
造成工事	株式会社奥村組	発電設備工事	東芝プラントシステム株式会社

■事業スケジュール

2018年より事業推進し、2021年造成工事に着手。2025年の発電所運転開始を目指します。

	2018年 (平成30年)	2019年 (令和1年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)
調査設計他	■							
造成工事					■			
設備工事						■		
発電所運転								■

■ 発電所位置図



■ 発電所配置予定図



※計画は現時点のものであり、今後、変更が生じることがあります。

■防災計画

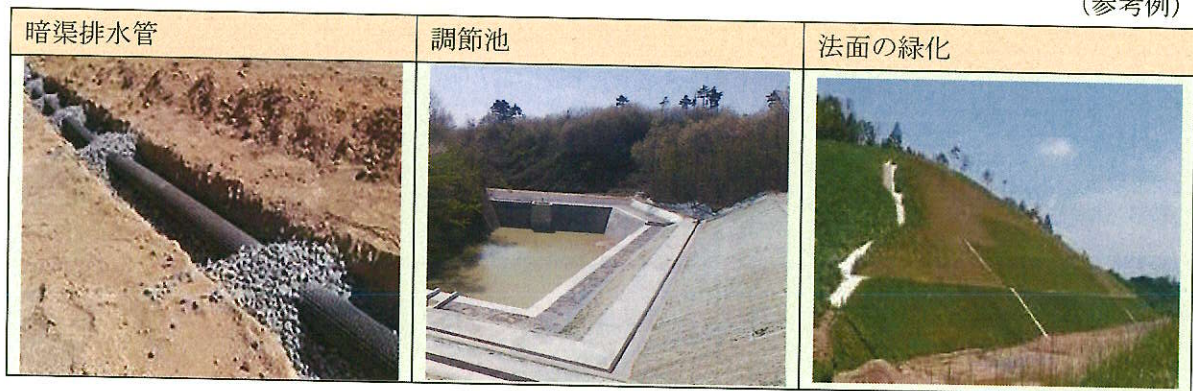
造成計画は、ボーリングによる地質調査や沢部の現況調査、加えて土質試験等を行い、地質の特性を十分に把握した上で、福島県林地開発許可基準に基づき設計しています。

沢部での盛土部分の地盤沈下や法面の崩壊を防止するため、十分な転圧を実施すると共に、入念に暗渠排水管（地中の水を排水する機能）を設置し、地中に流れる水（湧き水や浸透水）を、適切に排水します。

水害を防止するため、場内に排水側溝を整備し、最下流部に調節池（4箇所、容量計約8万t）を設置します。調節池は、開発により失われた保水機能を補完する役割があります。調節池が、雨水を一時的に貯めながら時間をかけて排水することで、下流水路への急激な水の流入を抑制します。

濁水の流出を防止するため、造成により裸地となった造成面（太陽光パネル設置部分等）や法面を、改めて緑化することで土の安定化を図ります。また、最下流にある調節池に堆砂機能をもたせ、そこで沈砂させることで、場外への濁水の流出を抑制します。

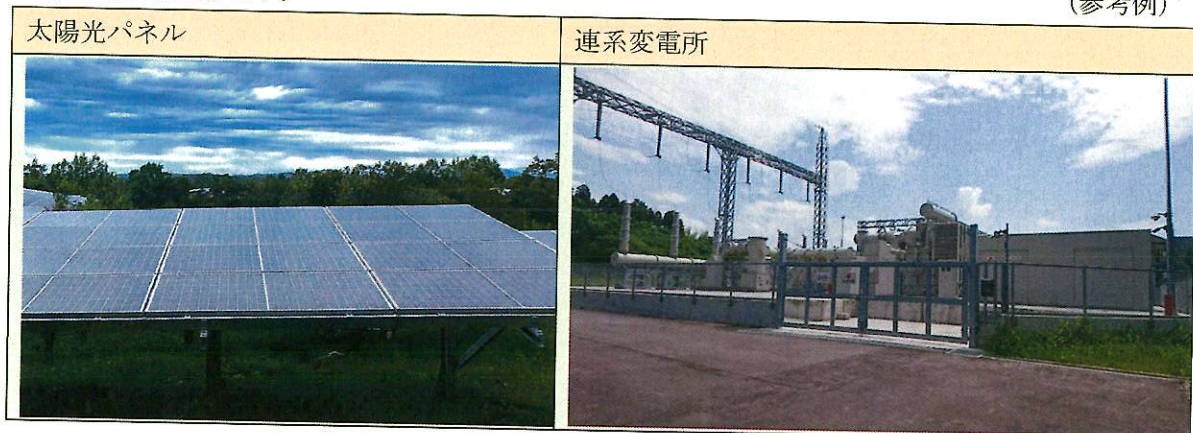
(参考例)



■太陽光発電設備

太陽光パネルは、専用の架台を用い、概ね造成の仕上がり面なりに設置します。発電設備の設計は、電気事業法や関係法令並びにJIS等関連規格を満たしたものとします。設計（構造計算含む）は、工事計画届として監督官庁（経済産業省産業保安監督部）へ提出し、そこで安全性が審査されます。安全性が確認された後に発電設備工事に着手します。工事完了時には、再度、監督官庁の安全管理審査を受けます。

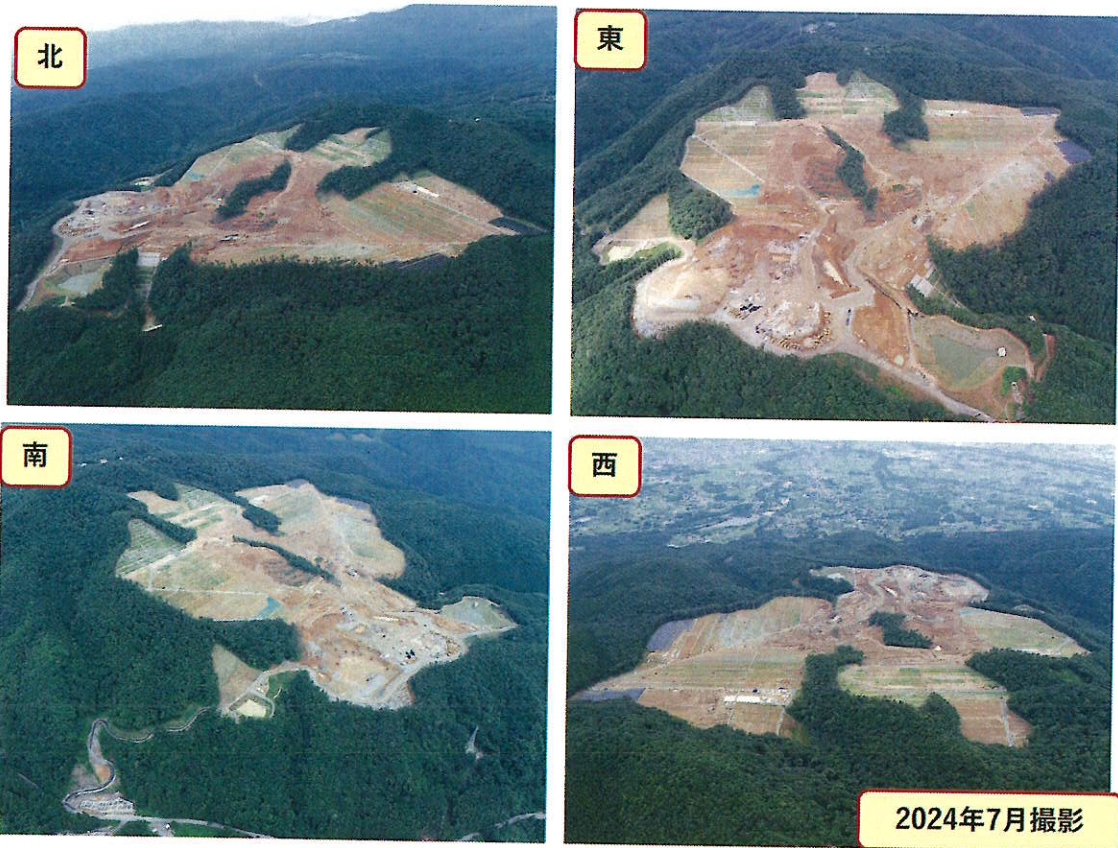
(参考例)



■事業経過と今後の予定

- 2018年：事業用地を取得し、開発計画策定のため調査・設計、環境調査を開始
- 2019年：福島県環境影響評価条例に定める準備書作成
- 2020年：準備書の縦覧、意見徴収、福島県の審査、県知事意見を受理
：環境影響評価法へ移行し、経産省による準備書の審査、経産大臣勧告を受理
- 2021年：環境影響評価法に定める評価書の作成、経産省による審査、経産大臣の確定通知を受理
：森林法に定める林地開発許可取得
：造成工事に着手
- 2022年：準備工事では、工事に必要となるアクセス道路、進入路の整備、付帯する伐採
- 2023年：1号～3号調節池を整備し全体的な土工事に着手
- 2024年：3月より造成工事と並行して設備工事に着手。土工事は8月完了を目途としており、設備工事は12月の完了を予定。
- 2025年：各種試験等を実施し、2月より試験運転開始を予定

■全景写真









■ 施工状況図



202407_施工状況
 凡例
 ■ 施工完了
 ■ パネル工事施工中
 ■ 造成工事施工中

■ 工事写真

<p>パネル基礎杭工事</p>	<p>パネル設置工事</p>
<p>緑化工事 (1号部植生シート)</p>	<p>植栽工事 (コナラ)</p>

土工事	仮沈砂池
	
1号調節池工事（現況）	2号調節池整備工事（現況）
	
3号調節池整備工事（現況）	4号調節池整備工事（施工中）
	

■奥村組より

造成工事を担当している㈱奥村組です。地域住民の皆様の安心・安全を確保しながら工事を進捗させることを第一に考えております。

2024年3月より本格的な造成工事を施工中です。早期緑化に努め、設備工事と協力し、安心していただける太陽光発電所を構築してまいります。

引き続き、騒音・粉塵・濁水対策に留意し施工を進めてまいりますので、なにとぞご理解頂きますようお願い申し上げます。



■東芝プラントシステムより

設備工事を担当している東芝プラントシステム(株)です。先行する奥村組の造成工事と同様に地域住民皆様のご理解を得ながら安全第一で工事を進めて参ります。

2024年3月より順次造成が完了したエリアにて電気設備の据付、ケーブル布設、各種確認試験を行い、当初計画通りの発電量を確保し、電力安定供給に寄与するよう工事を進めて参ります。

今までに地域住民の皆様とお約束した内容について情報を共有し、皆様のご迷惑とならないよう末端の作業員まで指導を行いますので、引続きのご指導、ご鞭撻をお願い致します。

■最後に

今、気候変動は深刻な事態となりました。世界的では、高温化、豪雨、大型台風、山林火災、大規模干ばつが日常的に発生し、生態系の維持はおろか、人類が生存できる環境ではなくなる可能性が高まっています。その中、再生可能エネルギーである太陽光発電所は、二酸化炭素の排出量の削減により地球温暖化防止として地球環境へ貢献し、また、エネルギー自給率の向上により日本の安全保障へも貢献するものです。Amp は、再生可能エネルギーの普及・拡大を通じ、子供たちの明るい未来を創造します。

■連絡先

事業に関するお問い合わせ	Amp 株式会社 (東京都港区六本木 1-4-5 アークヒルズサウスタワー16F) 担当者: [REDACTED]
工事に関するお問い合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社奥村組 (福島市在庭坂字向河原 8-10) 担当者: [REDACTED] ・東芝プラントシステム株式会社 (福島市荒井字南谷地田 3 番 1) 担当者: [REDACTED]